

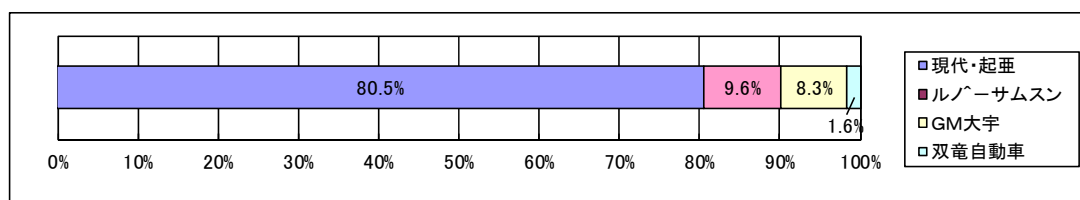
「韓国の経済システム」

二週間のご無沙汰でした。日一日と日が延び、春の訪れがそう遠くないと感じるこの頃です。まだ寒いのですが、日中の昼間には「春」を感じます。もう一つ、鼻と目に強烈な刺激。そう花粉です。今年の花粉は首都圏に限れば去年の7倍とか。量が7倍なら症状も7倍かという、そういうわけではないのですが、とにかくマスクとゴーグルが手放せません。今年、発症をされたみなさん、大歓迎です（笑）。軽傷にとどめるノウハウは豊富ですのでご相談を。

さて前号で、今や世界のブランド「サムスン」の企業研究をしてお伝えしました。ところが韓国経済の特殊性の方が圧倒的に面白いのです。最も近くて遠い隣国、という表現をされますが、ここまで経済のシステムが違うとは。驚きです。同時に「シャープ」や「パナソニック」と同様に「サムスン」も決して盤石だとは言いきれないのです。あ、あらかじめ申し上げますが、この稿には政治的な思いや外交に対する思いは一切入っておりません^^;

韓国の経済システムが決定的になったのが1997年の通貨危機です。ウォンが売られ続け、韓国はデフォルト寸前という事態に。IMFの管理下に入り、徹底的な経済基盤の変更を余儀なくされます。この時にIMFが行ったいくつかの施策が引き金です。一つ一つ見ていきましょう。

- ① **企業の寡占化**。韓国の企業と言えば「サムスン」「ヒュンダイ自動車」くらいしか知りません。これに鉄鋼大手の「ポスコ」を加えた三社が韓国の三大輸出企業とされています。三社の売り上げの合計はGDPの30%に相当します。たった三社だけです。日本では最大の企業であるトヨタ自動車ですら4%ですから、その集中ぶりは異常です。自動車メーカーを見ると「ヒュンダイ」系列で80%です。家電メーカーも「サムスン」と「LG」しかありません。このような寡占状況は1997年の通貨危機の際にIMFが行った構造改革の一環でした。それまでは韓国には多くの財閥企業が存在し、傘下にある企業が過当競争を繰り返していました。この過当競争こそが各企業利益が圧迫される原因だとしてビッグディール（事業交換）を強制的に行いました。日本でいえばパナソニックとソニーと東芝、日立製作所、を一緒にするような雰囲気です。その結果「サムスン」のような超巨大メーカーが誕生し、国内市場をほぼ独占することになったわけです。国内ではやりたい放題（笑）。




- ② 国内市場を食い物にする独占企業。市場の独占化で困るのは当然消費者です。競合相手がないのでは価格競争が起きず、定価でモノを買うしかありません。企業からしてみれば安心して高値を付け、高い収益を得ることができます。図をご覧ください。「サムスン」が売り上げの80%近くを海外で上げているのに対して、営業利益の9割近くは韓国国内で手にしている様子がわかります。**国内から徹底的に利益を吸い上げ、海外市場では低価格を売りにシェアを伸ばしていく。**これが韓国の輸出企業の基本戦略であるということが出来ます。「ヒュンダイ」でも同様です。国内の販売価格を海外よりも100万円以上高い値段を設定しています。**世界中を席巻しているように見える韓国の企業ですが、実際は自国の国民を犠牲にして海外での売り上げの数字を伸ばしています。**


2004年度のサムスン電子の収益構造 (単位:ウオン/連結対象)		
	海外市場	国内市場
売上金額	63兆6800億	18兆2800億
売上の割合	77.7%	22.3%
営業利益	1兆5000億	10兆2600億
営業利益の割合	12.8%	87.2%
営業利益率	2.4%	56.1%

さらに法人税が日本の1/2。国家を上げて一企業を優遇しています。つげは結局国民に。

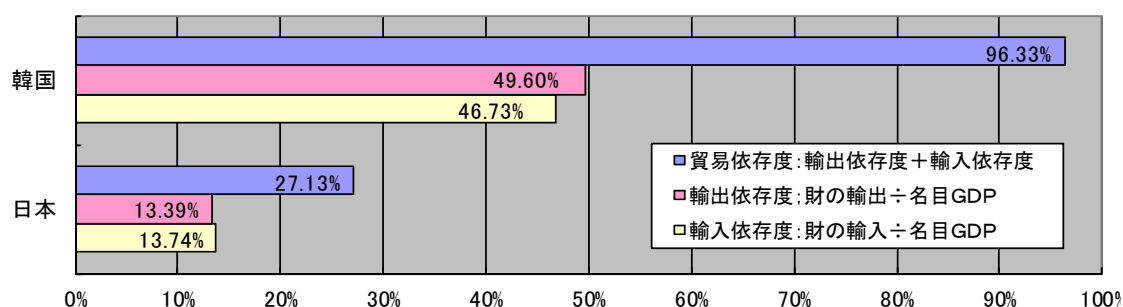
- ③ こうした背景を持つ韓国経済ですが、企業に関して言えば「サムスン」「ヒュンダイ」「ポスコ」に共通するのは株主の50%近くが海外の投資家であるということです。銀行に関して言えば80%~100%。IMFの構造改革を行っているうちにウオンと株価が暴落し、バーゲンセールになった状態で外国人投資家が株を買いあさったからです。資本だけを見ればすべ

て外資系企業だといってもよい。ガイジン  の要求はいつの時も同じです、「**利益を極大化し株主に最大限還元せよ**」です。結果的に、人件費が削られ韓国の一人当たりの給与は減り続けています。輸出で必死に稼ぎいくら利益を上げても半分はガイジンが行ってしまいます。**経済成長をしても国民が豊かになれない社会**、それが韓国です。

- ④ 輸出で儲けることを第一にすると政府も同調します。通貨であるウオン安に導き続けます。日本でも同じ議論がありますが、輸出をしている企業は円が安い方がいいのです。政府はウ

オン安  を積極的に仕掛けました。それが今日の隆盛につながったわけです。しかし、あまりに輸出に偏ると当然逆の弊害も出ます。貿易依存度のグラフを見てください。2011年は96%、2012年は110%というとんでもない数値です。日本と比べたときその異常ぶりがよくわかります。すなわちひとたび「ウオン高」になったら、輸出企業＝韓国経済は壊滅的な打撃を受けます。ここ数か月「ウオン高」が続いています。韓国経済は実は今、窮地に立たされているのです。

■日本と韓国の輸出・輸入・貿易依存度(2011年)



⑤ 韓国の輸出企業が脆弱であるのにはもう一つの理由があります。それは製品を作る際の原材料の多くを輸入に頼っていることです。資本財とは、生産するために必要な材料のことです。半導体を製造するための工作機械や計測機器、半導体の材料となるシリコンウエハーはほとんどすべて日本からの輸入です。原料としては金属、燃料などが輸入に頼ります。実際に日本の輸出品目を見てみると工業用原料（25%）、資本財（53%）、耐久消費財（14%）です。車や家電は14%に過ぎません。半導体製造に絶対に必要なレアガスは100%日本からの輸出です。日本のファナックが儲かるわけです。

⑥ まとめます。1997年の通貨危機をIMFと日本からの緊急支援で窮地を脱しました。構造的な問題はあるにしろ、「サムスン」「ヒュンダイ」を代表とするメガ企業が世界を席卷します。それには四つの条件がそろっていたからです。まず「ウォン安」。アジア通貨危機でウォンは1ドル800ウォンからわずか数か月で2000ウォンへ暴落しました。国内は厳しいのですが輸出にとって自国の通貨が弱いことは追い風です。続いては「リーマンショック」までの世界経済の順調な伸びでした。新興経済諸国の台頭です。三つ目は資源安。現在はこれが崩れ資源は高止まりの状況です。最後は日本の円安です。現在のようなレートではなく1ドル120円位の水準でした。ウォン安で競争力を身に着けたうえで、買ってくれるお客さんがたくさんいて、原材料は安く、資本財を安く買うことができる。これ以上良い条件はないでしょう。こうしたあまりにも順調な伸長の中で、構造的な問題にあまり目がいかなくなったとしても無理はないでしょう。日本では韓国の経済モデルを礼賛する風潮があるようですが、いい時はいい。しかしひとたび反転すると・・・

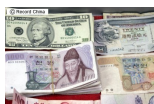
韓国経済は今、ピンチに瀕しています。ウォン高、新興国の伸びの鈍化、資源高、円高。好調であった時の4つの条件が反転しています。また、海外からの資本が逃げ始めていま



す。いわゆるキャピタルフライト

韓国経済のシステムをご理解いただけたいと思っています。基盤は脆弱なのです。しかも韓国が

誇る外貨準備高も怪しい^^;。2008年から詳細を発表しなくなりました。できないのです。かなりの部分を**金融派生商品**でもっているからです（これは私の友人であるトレーダーからの情報です）。サブプライムとっていただいて結構です。クズ証券に投資しちゃったのです。3000億ドルあるといってもその内情はお寒いものがあります。今や韓国は第三の金融危機



を目前にしています。いざというときは前回と同様、日本が支えましょう。歴史的にいろいろある国とはいえ文化的にも地理的にも隣人なのでありますから。

ところで、韓国の国民はどうなっているのかというと、半端ない「格差社会」です。給与所得を基準にした場合、韓国のジニ係数は**0.53**です（1に近いほど格差がひどい）。これは社会で暴動が起きたとしてもおかしくないといわれる水準です。米国は**0.44**、日本は**0.36**です。韓国の水準は世界でも最悪の部類です。さらに韓国は失業率が低いというのも事実ではありません。実質では**20%**を超えているといえます。また、**大学進学率が9割と世界最高水準**なのですが、その就職率は**50%**。財閥系の企業には入れなければ一生貧乏から抜け出せない。国民の自殺率は世界最高水準。日本の二倍です。家計の借金は**GDP**比率で**89%**。**85%**を超えると危険水準と言われます。韓国にもサラ金を取り締まる法律があるのですが、上限金利はなんと**66%**！！（日本は**20%**）です。こんな借金をしたら絶対に返せません。社会保障費の**GDP**比率は**OECD**加盟国のダントツビリの**7.7%**。出生率は低く（**1.1**）、日本以上に深刻な少子高齢化がやってきます。新しい大統領はこの国をどうしていこうとするのでしょうか。



もう一つ韓国が抱える特殊事情があります。言うまでもなく「北朝鮮」の存在です。現在はあくまでも「**休戦中**」です。いつ北が侵入をしてこないとも限らない。世界で一番危険な国が隣国なのでありますからこれ一つとっても大変です。軍隊は常に臨戦態勢、国防費も半端ではない。私は数年前に韓国の企業とお取引したことがあります。仕事帰りにいっしょに酒を飲みながら「韓国の人は本当に祖国統一を望んでいるんですか？」という質問をしたことがあります。答えは「**とんでもない、あんな連中と国が一つになるなんて考えたくもない**」でした。そんな連中が核兵器を持ってミサイルも常備している。日本では考えられないような緊張感の中、生活をしながらはならない。そんな厳しい状況も垣間見えます。大韓民国の明日はどっちだ！

さていかがでしょうか。私も今回いろいろな文献をあさるうちに普段と異なる韓国の顔を見たような気がします。次回は3月中旬。テーマは考え中です。ご発注もお待ちしております。

株式会社アール・リサーチ 代表 柳本信一

Tel 042-300-0533 mobile 090-7428-8999 mail : ryubon@kkd.biglobe.ne.jp

ブログ、ほぼ（笑）毎日更新しています→<http://r-research.co.jp/blog/>